



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2024年

6月

No.315



雨にも負けず風にも負けず、
今日も地元の子どもたちを見守ります

6月の社協だより

今月号の表紙は「小峯地区の登校見守り活動」です。地区の民生委員・児童委員さんが子どもたちの安全を見守っています。

他にも当協議会が行った事業で「福祉座談会」や「赤十字運動」を紹介しています。

また、社協情報には6月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

もくじ

P2 花カフェ／地域福祉課

福祉座談会／在宅福祉課

P3 赤十字運動／総務課

高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター

P4 社協情報／もの忘れ相談室、ひきこもり相談窓口 など

P6 地域サロン／寺迫・惣領3町内・土山・畑中

地域を支えるふくしの輪／「ご恩送り」～能登半島地震災害支援～

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

花カフエ

地域福祉課

みんな、ふらっと寄ってみなっせ！

認知症カフェ「花カフェ」は、参加者の手作りの料理に舌鼓を打ちながら、最近のできごとや介護に関する相談などを語り合う時間になっています。

毎月第2水曜日の13時30分から寺迫公民館で開催されており、事前申し込みは不要でどなたでも参加できます。詳細は、左記のQRコードでご確認ください。

介護も落ち着き、これから地域で介護をされている方のお手伝いができればと有志の方で熊本地震後、仮設住宅集会所での活動から始まりました。今でもメンバーが替わることもありますが、認知症の人やご家族が気軽に集まってお話できる場を毎月提供されています。



専門職も参加し、色んな話で盛り上がります



毎月集まっても話は尽きません

福祉座談会

在宅福祉課

行政区別福祉座談会開催しています！

令和4年度から各行政区で福祉座談会を開催しており、令和5年度までに37行政区で実施しました。令和6年度も31行政区で開催を予定しており、今年度第1回目を5月9日（木）に平田中地区で開催しました。

平田中地区は、高齢者の見守りは区長、民生委員・児童委員、高齢者相談・地域福祉委員、シルバークルパーなど各団体協力しながら訪問活動されており、気になることがあると、情報共有していること

と、

行政区別福祉座談会とは

区長、民生委員・児童委員、高齢者相談・地域福祉委員など地域の見守り活動をされている方々に参加いただき、地域包括支援センター、社協職員と一緒に地域での見守りや連携体制を考えるきっかけづくりとなるよう働きかけをすることを目的に実施しています。



協議内容を紙に書いて張り出して整理しています



活発な意見交換がなされました

赤十字運動

総務課

今回は5月から始まった赤十字運動について、その歴史と熊本県支部の主な活動をご紹介します。

赤十字は熊本県が発祥の地

日本赤十字社は、1877年（明治10年）の西南戦争の最中に設立された「博愛社」という救護団体が、その前身となっており、日本赤十字社創設者の佐野常

民（さのつねたみ）が敵味方に関係なく負傷者は平等に診るという思想を具現化したものが日本赤十字社です。

熊本が赤十字発祥の地とされていること、5月に活動資金の募集を行うのはこのためです。

日本赤十字社熊本県支部の活動

国内災害救護活動 常備救護班体制を整え、被災地でいち早く医療救護活動を行います。定期的な訓練・研修の実施や救援物資を備蓄しています。

国際活動 世界各地で頻発する自然災害や紛争に対し、救援要員を派遣するとともに、発展途上国でも開発協力等

の支援を行っています。

救急法等の講習 人びとの生命と健康を守るため、赤十字講習会を行っています。お気軽にお問い合わせください。

赤十字奉仕団 地域奉仕団、青年奉仕団、特殊奉仕団があり、赤十字防災ボランティアとともに赤十字の事業・活動を支えています。

青少年赤十字（JRC） 園児から高校生を対象に、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として、子どもたちの「気づき・考え・実行する」力をはぐくみます。

看護師養成 災害時だけでなく地域医

療の担い手として、赤十字精神と最先端の看護技術を身につけた人材育成をしています。

赤十字思想の普及 人のいのちと健康、尊厳を守る活動をとおして、人が生まれながらにもっている思いやりの心やボランティア精神を掘り起こし、ひいては戦争のない平和な世界を創生します。



高齢者の生きがいづくり

シルバー人材センター

安全・適正就業推進員研修会

4月24日（水）に熊本県総合福祉センターで開催され、安全委員4名と事務局で参加しました。

研修会では、県内のシルバー人材センターの事故発生状況の報告や刈払機の安全な使用方法、日頃の道具のメンテナンス方法などを学びました。研修で得た学

を活かし、今後も会員一人ひとりの更なる安全意識向上に務めます。

剪定作業ができる方を募集中

当センターでは、現在、庭木の剪定作業を行う会員が不足しています。左記の要件を満たす方を募集しています。

- ・トリマー（バリカン）と脚立をお持ちの方
 - ・自身の車で道具を現場まで運べる方
- 剪定作業の経験は問いません。少しでも興味をお持ちの方はお問い合わせください。

問 シルバー人材センター

☎096-289-6092



安全・適正就業推進員研修



剪定作業の様子

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／6月18日（火）

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇ひきこもり相談窓口

ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなる場合があります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。ご家族や知り合いの方からの相談も

お受けしています。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮などの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

現在、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談でも構いません。興味のある方は事前連絡をお願いいたします。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所

（住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇成年後見法人後見事業・日常生活自立支援事業生活支援員養成講座

認知症、障がいなどにより判断能力が低下した場合でも安心して生活ができるよう生活支援員の養成講座を開催します。

日時／7月27日（土）10時から

場所／はびねす会議室（1階）

（住所／益城町惣領1470）

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
6月5日(水)	松尾 一 (行政相談委員)		志賀親義 (民生児童委員)
6月12日(水)	松尾英美 (司法書士)	堀内敦子 (人権擁護委員)	豊永苓二 (民生児童委員)
6月19日(水)	松尾 一 (行政書士)	後藤奈保子 (人権擁護委員)	今吉芙美江 (民生児童委員)
6月26日(水)	松尾英美 (司法書士)	大塚慶子 (消費者地域相談員)	井上満喜恵 (民生児童委員)
7月3日(水)	松尾英美 (司法書士)		平田真一 (民生児童委員)

◇県運営適正化委員会からのお知らせ
 福祉サービスに関する苦情などお気軽にご相談ください。

福祉サービスに関する苦情や相談は、事業所内にある苦情受付窓口で受け付けています。しかし、解決できなかったり、直接、言いにくい場合は「熊本県運営適正化委員会」へお気軽にご相談ください。利用者本人や家族、代理の方でも相談できます。

日時／9時から17時（土・日・祝日除く）
 ※相談は無料です。秘密は守ります。

問 県運営適正化委員会

☎096-324-5471

◇在宅介護者のつどい

ご自宅で家族等の介護をされている方を対象に、介護に役立つ話や介護者同士の交流、情報交換を目的に在宅介護者のつどいを開催します。

日時／6月26日（水）13時から15時

場所／益城町交流情報センター会議室

住所／益城町木山236

内容／高齢者や介護者の口の健康について

講師／医療法人共愛会 共愛歯科医院

副理事長 園田隆紹氏

その他にも介護情報や介護者同士の意見交換会を行います。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇親子講座

子どもの安全と一緒に学びませんか

近年、乳幼児が日常生活の中で事故や病気などで、救急車で運ばれている事故が多発しています。

子どもの事故には、周りの大人が子供の年齢や成長段階に応じた特性と行動を知り、適切な対策をとることで防げるものがあります。

子どもを事故から守り、明るく楽しい子育てと毎日の生活のために不慮の事故や急病に対する正しい応急手当の知識と技術を身につける機会にすることを目的に開催します。

日時／①7月3日（水）②7月11日（木）

10時から11時30分

場所／益城町総合体育館 武道場

対象／未就学児までの親子10組

内容／①子どもが病気の時の看病の仕方

②乳幼児の一次救命処置、AEDを使った心肺蘇生法など

参加費／無料 締切／6月25日（火）

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇地域福祉塾生募集

高齢社会において、地域が必要とされる活動や支援は多種多様です。町の実情等を知り、介護保険制度や福祉活動を学び地域の担い手として、これからの益城

町の地域活動を一緒に考え「あったらいな」を形にして、一緒に活動に取り組みませんか。

【募集内容】

募集人員／20名程度 参加費／無料

場所／町内施設（はびねす工作室または研修室）

募集期間／令和6年6月3日～7月12日

対象者／町内在住の方、自主活動や地域活動を考えている方・興味のある方、地域活動中の方など

※グループでの申し込みも可能です

講座内容／左記及び下段参照

問／地域福祉課

☎096-214-5566

	日程	時間	内容
1	7月18日(木)	10時	地域福祉について
2	7月24日(水)	13時30分	高齢者の地域見守り・集いの場の必要性
3	7月31日(水)	10時	安心して暮らせる地域づくり
4	8月8日(木)	10時	成年後見制度について
5	8月16日(金)	10時	町の介護保険制度・認知症の取り組み

◇新任教員紹介

令和6年4月1日付けで1名の職員を新たに採用しましたのでご紹介します。



こんにちは。益城町のことをまだまだ知らないのですが、これから色々なことを学んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

氏名／村田 由希恵 所属／地域福祉課

	日程	時間	内容
6	9月5日(木)	10時	地域包括支援センター・生活支援コーディネーターの取り組み
7	9月12日(木)	10時	地域サロンの取り組み
8	9月27日(金)	13時30分	「今、私たちにできること！」復興・地域のつながり
9	10月4日(金)	10時	お出かけ支援について
10	10月10日(木)	10時	これからの取り組み(受講生による活動計画)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

寺迫古城会



場所／寺迫公民館／日時／毎月第1木曜日 9時30分

惣領3町内ニコニコサロン



場所／惣領3町内公民館／日時／毎月10日 10時

サロン土山



場所／土山公民館／日時／毎月第2木曜日 10時

畑中あつまろう会



場所／福田分館／日時／毎月第3金曜日 13時

地域を支えるふくしの輪

「ご恩送り」～能登半島地震災害支援～

益城町ボランティア連絡協議会は、3月下旬から約1週間石川県能登町を中心に避難所や仮設住宅で炊き出しなどの支援をされました。また、益城町内の方から募ったメッセージと義援金をお届けしました。

益城町ボランティア連絡協議会の吉村静代会長は「8年前の熊本地震と比べてボランティアの活動がまだ十分ではないと感じ、熊本地震でいただいた恩を今度は自分たちが送りたい」と話されていました。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



能登半島地震被災地へメッセージフラッグをお届けしました

2024年

6月

No.315

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL /096-214-5566 FAX /096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

